



プロジェクト名称

『COLOR MY TOWN』

プロジェクト活動概要

『COLOR MY TOWN』は昨年度まで、芝浦工業大学学生プロジェクトとして活動していた、『FACE TO FENCE』と『大宮イルミネーションプロジェクト』による合同プロジェクトです。両プロジェクトの活動で培ったまちづくりの知見と、地域とのつながりを活かして、地域住民が主体的にまちづくりに参加していく活動を行っていきます。



『FACE TO FENCE』

2005 年から活動しているまちづくりプロジェクト。地域の境界となっている「フェンス」を交流の場にする活動を行ってきました。

『大宮イルミネーションプロジェクト』

2006 年から活動しているまちづくりプロジェクト。地域の境界となっている「フェンス」を交流の場にする活動を行ってきました。

□地域を横断した参加型まちづくり活動

『FACE TO FENCE』と『大宮イルミネーションプロジェクト』の活動基盤である、見沼区と大宮区を対象として活動していきます。地域を横断したまちづくり活動を、それぞれの場所に表出させることで、様々な場所でまちの記憶や思い出を想起させ、周辺地域住民にまちづくり活動の参加意識を誘起し、今後のまちの在り方を構想する契機となるようなプロジェクトを画策しています。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2016 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日

活動報告

活動概要	活動場所	活動内容
12 月 12 日 ～ 1 月 10 日 イルミネーションの点検	大宮駅東口商店街	大宮駅東口商店街に設置しているイルミネーションの点検しました。
1 月 6 日 五線譜イルミ、灯籠イルミ、筒イルミ、 武蔵野銀行ビルツリーイルミ撤去	大宮駅東口商店街	イルミネーションの撤去作業をしました。
3 月 25 日 反省会、引継ぎ	芝浦工業大学	1 年間を振り返り、反省点と来年度の方針を話しました。



活動写真



五線譜イルミネーションの様子



大宮駅東口商店街の点灯式の様子



灯籠イルミネーション点灯風景



大宮駅東口商店街の点灯式の演説



武蔵野銀行ビルツリーイルミネーション



大栄橋高架下の五線譜イルミネーション



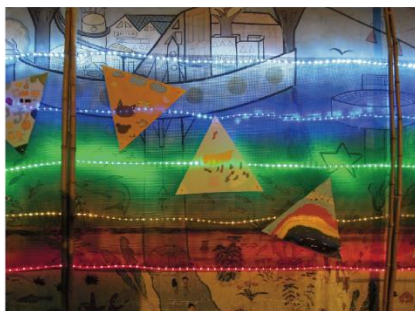
大栄橋のビルツリーイルミネーション



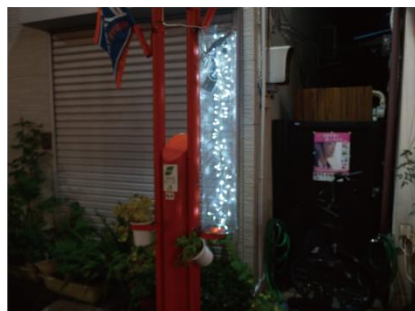
銀座通りの五線譜イルミネーションの点検



銀座通りの筒イルミネーション



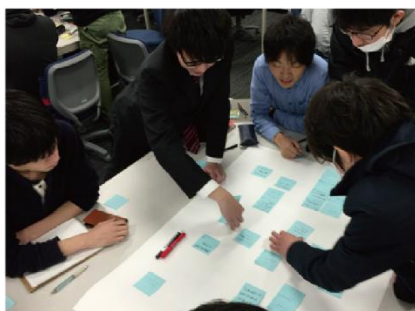
大栄橋高架下の絵



住吉通りの筒イルミネーション



点灯式に集まってくれた人々



反省会でのブレインストーミング



反省会での議論



反省会での発表



今後の活動計画、目標、意気込みなど

① 『COLOR MY TOWN』の活動目的

地域を横断した参加型まちづくり活動『FACE TO FENCE』と『大宮イルミネーションプロジェクト』の活動基盤である、見沼区と大宮区を対象としました。

- 1、さいたま市立春野小学校
- 2、大宮駅東口

の2つの拠点で活動を行っていくことを現在予定しています。

私たちは、大宮のまちの中にある境界(氷川参道、大栄橋、建物を囲むフェンス等)が店舗を営む店主や小学生、タワーマンションに住み始めた人々どうしの交流を妨げるものであると捉えています。それらの境界に、店主や小学生等の地域住民を巻き込みながらまちづくり活動を仕掛けることで、彼らにまちづくり活動の参加意識を誘起し、今後のまちの在り方を考えるきっかけとなるようなプロジェクトを画策しています。

② 「さいたまトリエンナーレ2016」への参画と継続的なまちづくり活動

2016 年度秋、「未来の発見!」をテーマに、「さいたまトリエンナーレ2016」※が開催されます。「さいたまトリエンナーレ2016」は国内外で先進的に活動するアーティストとさいたま市民が交流し、市内各地で様々なイベントを展開します。また、主催者である、さいたま市実行委員会は「さいたまトリエンナーレ2016」を一過性のイベントではなく、その後の地域活性化につながるような『まちづくり』として」の側面を強く打ち出しています。私たちも「さいたまトリエンナーレ2016」への参画のみならず、その後の継続的なまちづくりを目指した活動を行っていきます。

※「さいたまトリエンナーレ2016」(主催:さいたま市/さいたまトリエンナーレ実行委員会)
:さいたま市が2014 年4 月1 日に施行したさいまた市文化芸術都市創造条例に基づき「文化芸術都市さいたま市」の創造に向けた事業として、2016 年秋に開催されるアートプロジェクトである。



横浜トリエンナーレ 2014



越後妻有トリエンナーレ 2015